大同工業株式会社

第122期 中間報告書

平成26年4月1日から平成26年9月30日まで

ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申しあげます。

第122期第2四半期累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）の営業が終了いたしましたので、報告書をお届けし、ご報告申しあげます。

平成26年12月

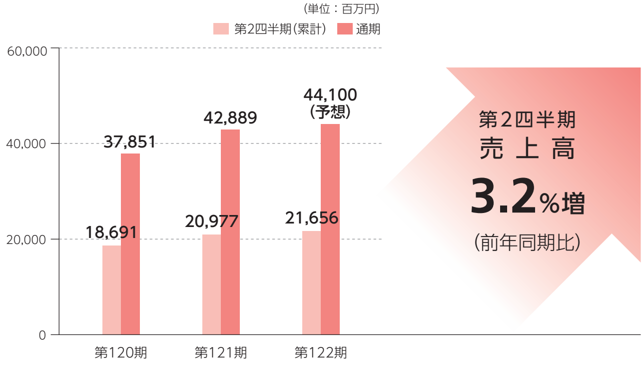
代表取締役社長　新　家　康　三

事業の経過及び成果

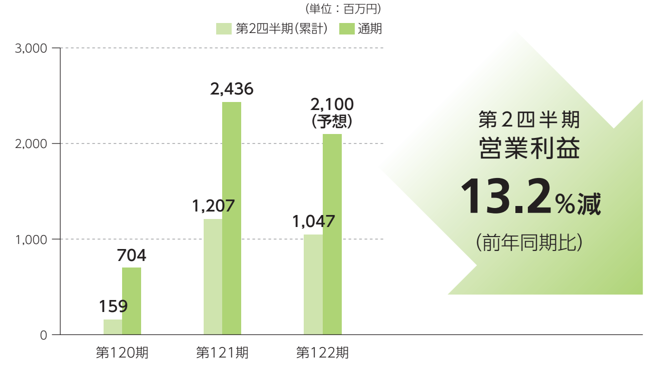
当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、海外においては、米国経済の回復基調が続いているものの、ウクライナや中東における政情不安、新興国経済の成長鈍化などにより、先行き不透明な状況が続きました。国内においては、消費税増税後の個人消費の落ち込みが見られるものの、政府・日銀の経済・金融政策や円安傾向を背景として緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、国内では、完成車メーカーの海外生産移管の影響等により、厳しい受注状況となりましたが、アセアン、インド、欧州において、為替の円安効果もあり、二輪車用チェーンの補修市場向けの受注を中心に好調に推移いたしました。また、

売上高



営業利益



インドにおいて二輪車用チェーンの一貫生産、米国において四輪車用チェーンの組立生産の本格稼動を進めるなど、更なるグローバル展開の推進に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、216億56百万円（前年同期比3.2％増加）、営業利益は10億47百万円（前年同期比は13.2％減少）、経常利益は12億5百万円（前年同期比19.7％減少）、四半期純利益は7億82百万円（前年同期比9.4％減少）となりました。

なお、中間配当につきましては、期初の計画どおり実施を見送らせていただきたいと存じますので、何卒ご了承賜りますようお願い申しあげます。

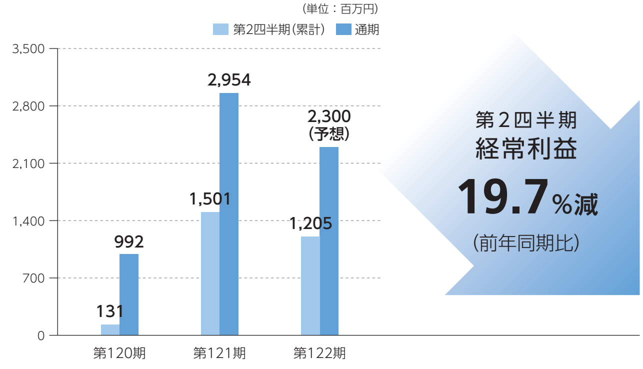
対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、米国を主導とした世界経済の緩やかな回復が見られますが、欧州経済のデフレ懸念、中国や東南アジア・南米など新興国における経済成長の鈍化など、引き続き予断を許さない状況が続くと予想されます。

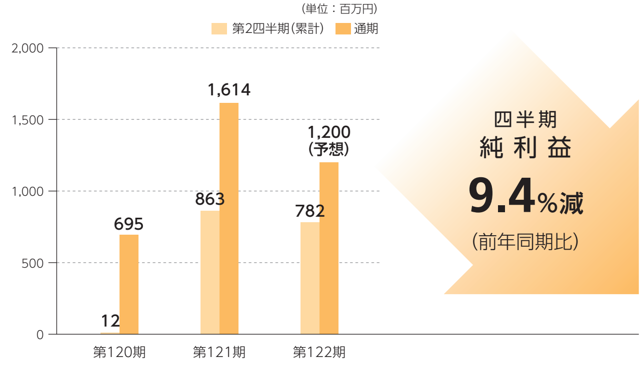
このような状況のもと、当社グループでは、『新たなステージへの変革』をスローガンとする第9次中期経営計画（2012～2014年）の最終年度を迎え、インドにおける二輪車用チェーン及び米国における四輪車用チェーンの生産を本格稼動させるなどグローバル事業の更なる展開を図ってまいります。また、新たな事業分野に挑戦し、新規事業の創出を目指すとともに、次世代を担う人財を育成し、常に発展しつづける企業体質づくりを進めてまいります。

株主・投資家の皆様におかれましては、より一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申しあげます。

経常利益



四半期（当期）純利益

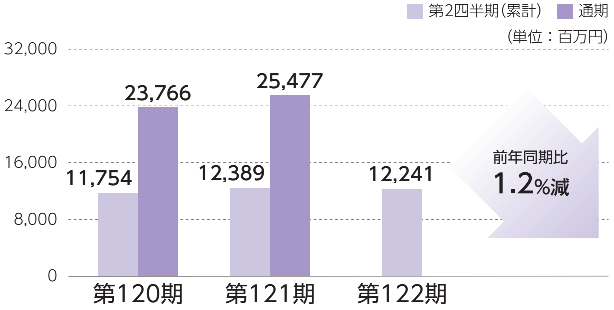


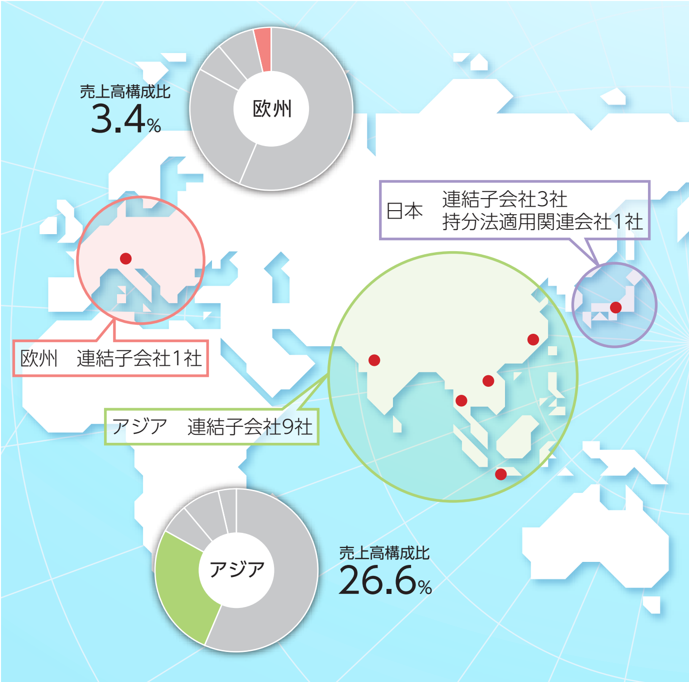
所在地別セグメント（当社及び連結子会社の属する国または地域を基準としたもの）

日　本

二輪車用チェーンについては、補修市場向けの受注が好調に推移するとともに、為替の円安効果もあり、前年同期を上回りました。四輪車用チェーン等については、完成車メーカーの海外生産移管の影響等により、受注が低調であったことから、前年同期を下回りました。コンベヤ関連については、大型案件の受注が乏しく前年同期を下回りました。一方、産業機械用チェーン等については、国内景気の回復基調を背景に、補修向けの受注が堅調に推移したことから、前年同期を上回りました。

その結果、売上高は122億41百万円となりました。





ご参考

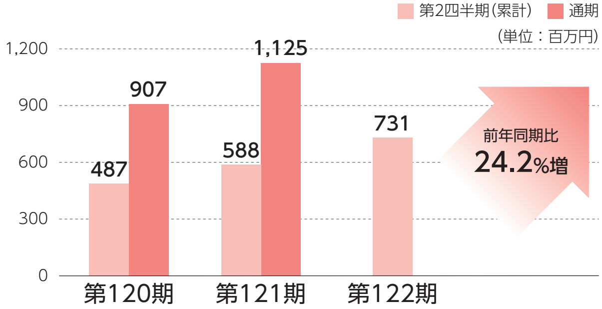
仕向地別セグメント
（顧客の属する国または地域を基準としたもの）

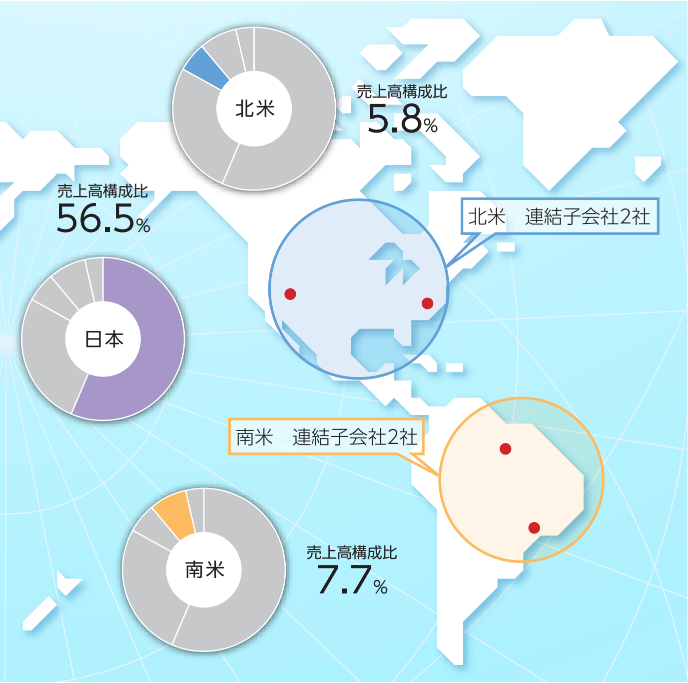
	売上高（百万円）	構成比	前年同期比
日　　本	10,815	49.9%	2.5%減
アジア	6,561	30.3%	12.0%増
北　　米	1,234	5.7%	0.3%減
南　　米	1,802	8.3%	2.0%増
欧　　州	1,080	5.0%	29.6%増
その他	160	0.8%	14.8%減

欧　州

二輪車用チェーンについては、補修市場向けにおいて西欧と北欧での販売活動強化の結果、受注が好調であったことから、前年同期を上回りました。また完成車メーカー向けにおいても、欧州系メーカーからの受注が順調であったことから、前年同期を上回りました。

その結果、売上高は7億31百万円となりました。

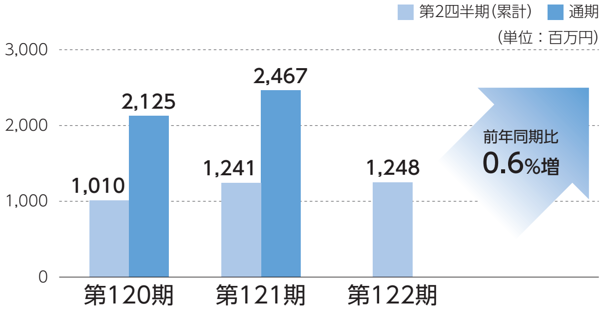




北　米

二輪車用チェーンについては、北米での二輪車市場の景況は依然厳しく、受注が低調であったことから、前年同期を下回りました。一方、産業機械用チェーンについては、北米での緩やかな景気回復に伴い受注が堅調に推移したことから、前年同期を上回りました。

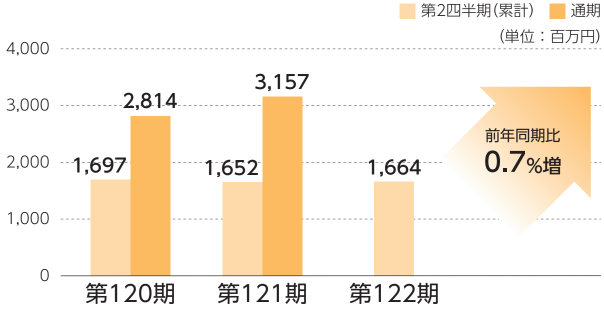
その結果、売上高は12億48百万円となりました。



南　米

二輪車用チェーンについては、補修市場向けの受注が順調であったことから、前年同期を上回りました。

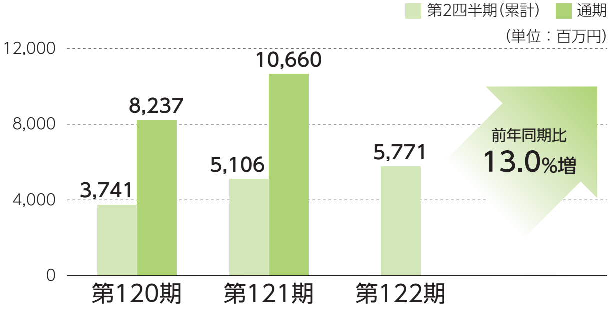
その結果、売上高は16億64百万円となりました。



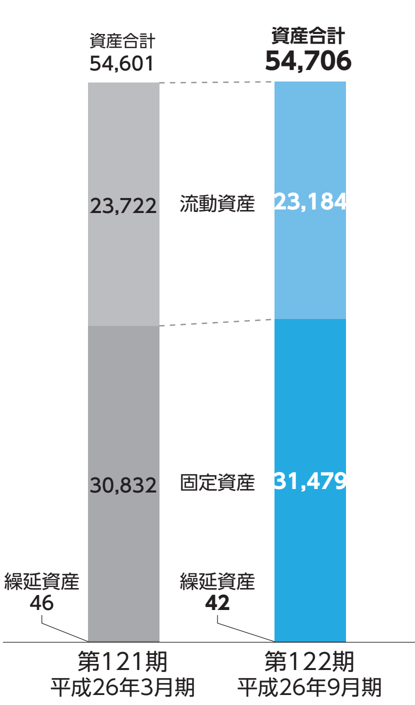
アジア

二輪車用チェーンについては、アセアン諸国において補修市場向けを中心に受注が順調に推移するとともに、インドにおいても着実に受注が増加したことから、前年同期を上回りました。四輪車用チェーンについては、インドネシア、中国を中心に受注が好調であったことから、前年同期を上回りました。コンベヤ関連についても、タイを中心に受注が好調であったことから前年同期を上回りました。

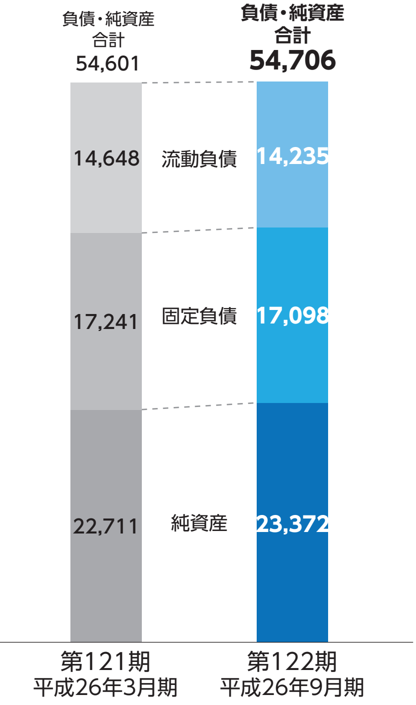
その結果、売上高は57億71百万円となりました。



資産の部



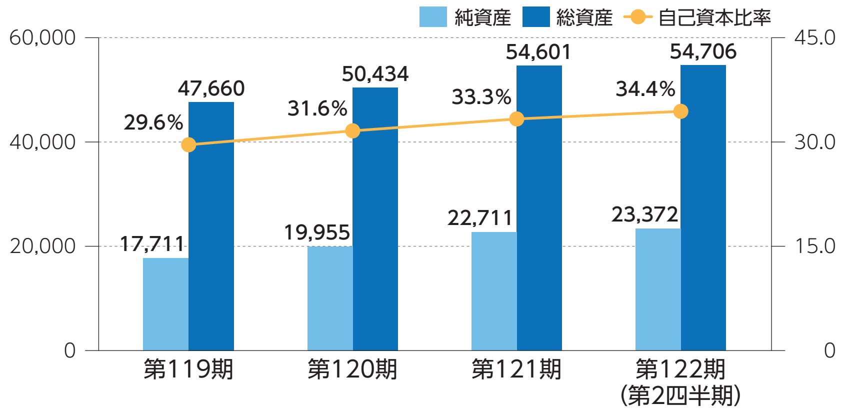
負債及び純資産の部



ポイント解説

総資産は、現金及び預金が減少したものの、受取手形及び売掛金、仕掛品、建設仮勘定、投資有価証券が増加したことなどにより、前期末と比べ1億5百万円増加しました。
負債は、繰延税金負債が増加したものの、支払手形及び買掛金、借入金が減少したことなどにより、前期末と比べ5億56百万円減少しました。
純資産は、為替換算調整勘定が減少したものの、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金が増加したことなどにより、前期末と比べ6億61百万円増加しました。

純資産・総資産・自己資本比率

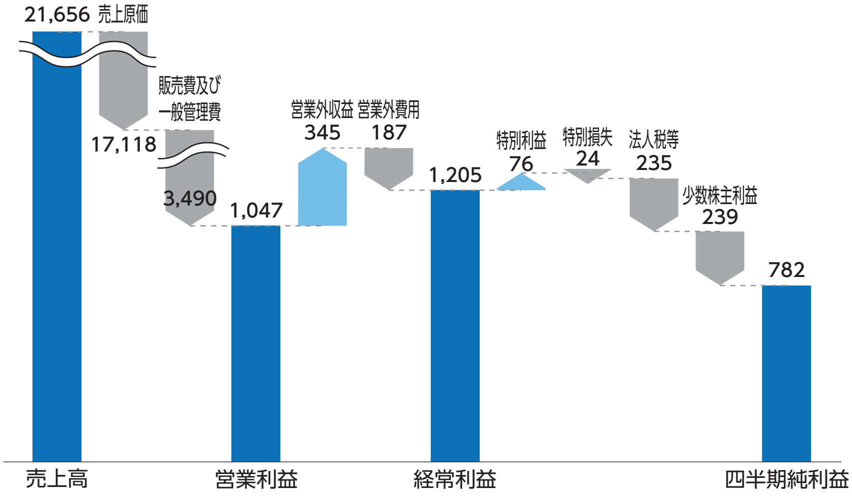


ポイント解説

自己資本比率は、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加などにより純資産が増加した結果、前期末と比べ1.1ポイント増加の34.4％となりました。

損益の状況 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)

単位：百万円



ポイント解説

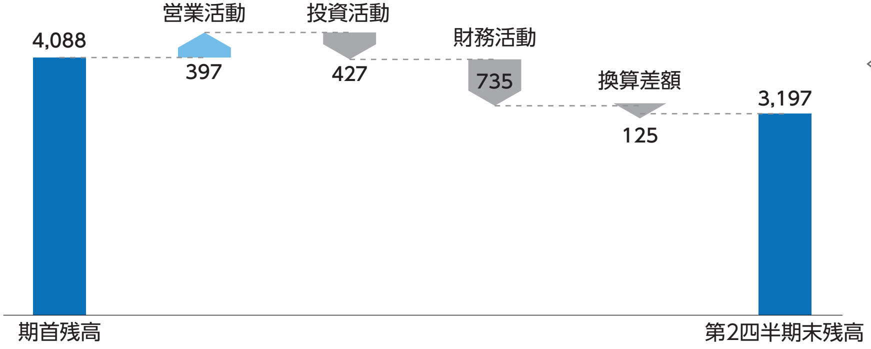
二輪車用チェーンは、補修市場向けにおいて、アセアン、インド、欧州を中心に受注が好調に推移しました。四輪車用チェーンは、国内では完成車メーカーの海外生産移管等による受注減の影響を受けた一方、アジアでは受注が好調に推移しました。産業機械用チェーンは、景気の回復を背景に日本、北米で好調に推移しました。また、コンベヤ関連については、国内の大型案件受注が乏しかった一方、アジアではタイを中心に好調な受注となりました。その結果、売上面では前年同期を上回りましたが、利益面では海外での工場立ち上げに伴う初期投資等により前年同期を下回りました。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
第122期　平成26年9月期	21,656	1,047	1,205	782
第121期　平成25年9月期	20,977	1,207	1,501	863

キャッシュ・フローの状況 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)

単位：百万円



ポイント解説

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権が増加、仕入債務が減少、たな卸資産が増加したものの、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費を計上したこと等により3億97百万円の獲得となりました。
投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入があった一方、主に有形固定資産の取得による支出などにより4億27百万円の使用、財務活動によるキャッシュ・フローは、主に借入の返済による支出、配当金の支払などにより7億35百万円の使用となりました。

会社概要 (平成26年9月30日現在)

会社の概況

商　　　　号	大同工業株式会社
設立年月日	昭和8年5月25日
資　本　金	27億2,637万円
従　業　員	720名（個別）　2,490名（連結）

事業所

本社・本社工場	石川県加賀市熊坂町イ197番地
福　田　工　場	石川県加賀市大聖寺下福田町ソ20
動　橋　工　場	石川県加賀市動橋町ヰ22-1
東　京　支　社	東京都中央区日本橋人形町3-5-4（MS-2ビル）
大阪営業所	大阪市中央区南船場2-12-12（新家ビル）
名古屋営業所	名古屋市中村区名駅南4-9-7
浜松営業所	浜松市中区萩丘1-19-11
熊本営業所	熊本県菊池市旭志川辺1074-1

会社役員の状況

会社における地位	氏　名
代表取締役社長	新家　康三
専務取締役	立田　康行
常務取締役	中野　金一郎
常務取締役	平野　信一
常務取締役	新家　啓史
取締役	菊知　克幸
取締役	清水　俊弘
常勤監査役	福田　治
監査役	笠松　靖男
監査役	棚橋　健一
監査役	東森　正則

(注) 1. 監査役笠松靖男氏、監査役棚橋健一氏及び監査役東森正則氏は、社外監査役であります。
2. 当社は、監査役棚橋健一氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届出ております。

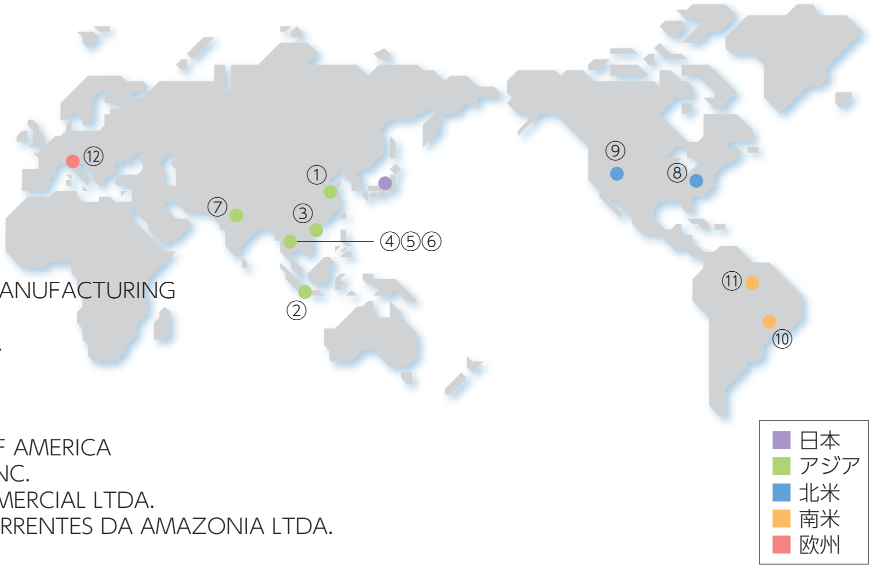
グローバルネットワーク

国内ネットワーク

- 株式会社D.I.D
- 株式会社大同ゼネラルサービス
- 株式会社大同テクノ
- ダイド建設株式会社
- 新星工業株式会社
- 株式会社月星製作所
- 株式会社和泉商行

海外ネットワーク

中国	①	大同鏈条（常熟）有限公司
インドネシア	②	P.T. DAIDO INDONESIA MANUFACTURING
ベトナム	③	D.I.D VIETNAM CO., LTD.
タイ	④	DAIDO SITTIPOL CO., LTD.
タイ	⑤	D.I.D ASIA CO., LTD.
タイ	⑥	INTERFACE グループ（3社）
インド	⑦	DAIDO INDIA PVT. LTD.
アメリカ	⑧	DAIDO CORPORATION OF AMERICA
アメリカ	⑨	RAD MANUFACTURING, INC.
ブラジル	⑩	DAIDO INDUSTRIAL E COMERCIAL LTDA.
ブラジル	⑪	DAIDO INDUSTRIA DE CORRENTES DA AMAZONIA LTDA.
イタリア	⑫	DID EUROPE S.R.L.



株式情報 (平成26年9月30日現在)

株式の状況

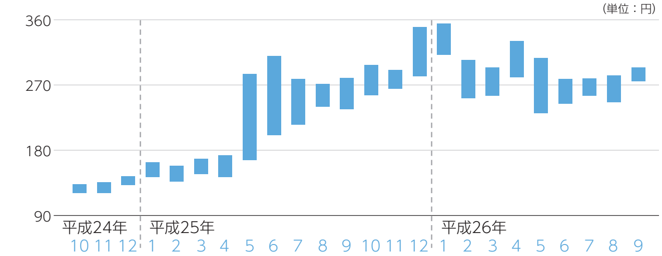
発行可能株式総数	160,000,000株
発行済株式総数	47,171,006株（自己株式49,591株含む）
株主数	4,217名

大株主（上位10名）

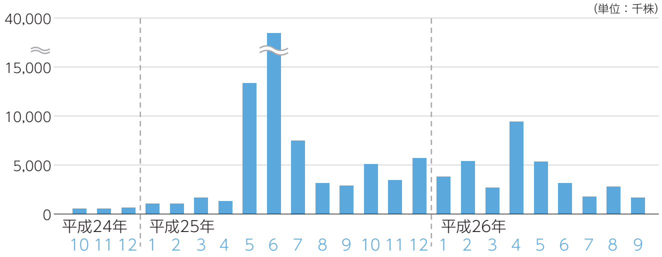
株主氏名及び名称	持株数	持株比率
株式会社飯田	2,308千株	4.90%
株式会社北國銀行	2,281	4.84
日本生命保険相互会社	1,377	2.92
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	1,344	2.85
加賀商工有限会社	1,308	2.78
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,299	2.76
大同生命保険株式会社	1,298	2.75
株式会社みずほ銀行	1,291	2.74
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,291	2.74
新家萬里子	1,287	2.73

（注）持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

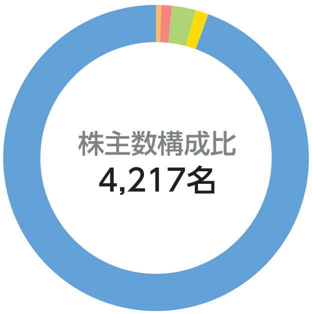
株価（高値・安値）の推移



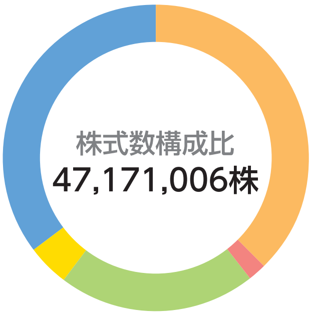
出来高の推移



株式分布状況



金融機関	33名	0.78%
金融商品取引業者	38名	0.90%
法人その他	114名	2.70%
外国法人等	58名	1.38%
個人その他	3,974名	94.24%



金融機関	18,229,302株	37.71%
金融商品取引業者	899,435株	1.86%
法人その他	8,878,820株	20.79%
外国法人等	2,122,750株	4.39%
個人その他	17,040,699株	35.25%

インド子会社における生産工場の増設と一貫生産体制への移行

昨年5月より進めてまいりましたインド子会社DAIDO INDIA PVT. LTD.における生産工場の増設が完了し、本年9月より二輪車用チェーンの一貫生産体制への移行と量産を開始いたしました。

インド子会社における生産工場増設と原材料の現地調達を含めた部品加工から組立までの一貫生産体制への移行の目的は、年々拡大成長するインド二輪車市場への本格参入であり、今後は同社が営業拠点として築いてきた販売ネットワークと、一貫生産体制への移行により強化・拡充された生産能力の両面をもって、インド二輪車市場における完成車メーカー向けおよび補修市場向けのシェア拡大を図ってまいります。

【新工場の概要】

所在地	インド共和国ラジャスタン州ニムラナ工業団地	
延床面積	6,100㎡	(今回増設部分3,000㎡)
累計投資額	780百万ルピー	(今回増設部分570百万ルピー)
従業員	166名	(平成26年9月30日現在)

アメリカ子会社の新工場が稼動

アメリカ子会社DAIDO CORPORATION OF AMERICAでは、設立時からのビジネスである二輪車用チェーン・リム及び産業用チェーンの輸入販売に加え、近年においては四輪車用エンジン内チェーンの輸入販売も新たなビジネスとして展開しておりますが、更なる拡大が期待される北米四輪車市場における需要回復を背景に、同社において四輪車用エンジン内チェーンならびに関連システム部品の生産を行うべく、昨年8月より新たに建設を進めていた生産工場が完成し、本年7月よりお客様への納入を開始いたしました。

今後は、お客様のニーズを的確に捉えつつも、お客様のメリットを最大限に生み出すための製品をタイムリーに提供できる体制作りをより一層進め、当社グループにおける四輪事業の強化を実現してまいります。

【新工場の概要】

所在地	米国テネシー州ポートランド	
延床面積	8,250㎡	
従業員	76名	(平成26年9月30日現在)

いす式階段昇降機「楽ちん号」サイトをリニューアル

当社が製造販売を行う福祉機器、いす式階段昇降機「楽ちん号」の専用サイトが見やすく使いやすいデザインに生まれ変わりました。

是非、リニューアルした「楽ちん号」サイトをご覧ください。

http://www.rakuchin.jp

ブラジル子会社 DAIDO INDUSTRIAL E COMERCIAL LTDA. の概要

▲DIC工場

子会社化時期：2006年3月
（会社設立時期）：1973年11月
資本金：22百万レアル
所在地：ブラジル連邦共和国サンパウロ州タウバテ市
敷地面積：66,120㎡
建築面積：15,700㎡
取得認証規格：ISO9001
従業員数：183名　（平成26年9月30日現在）
ホームページURL：http://www.daido.com.br/

DAIDO INDUSTRIAL E COMERCIAL LTDA.（以下DIC）は、ブラジルはサンパウロ州とリオデジャネイロ州を繋ぐ国道沿い、サンパウロより北東へ120kmの距離にあるパライバ平原の中央に位置するタウバテ市に本社工場を構えています。

DICの歴史は非常に古く、今から遡ること40年以上前の1973年に設立されました。当時は、日系の大手鉄鋼メーカーがブラジルへの進出を決めており、コンベヤの大型需要の継続が見込まれたことに加え、建機、セメント、紙パルプなどの産業機械用チェーンの国内需要増加も期待されたため、大同工業として初となる海外進出が決定されました。しかしながら、その後の急激なブラジル経済の落ち込みにより、1990年に撤退を余儀なくされましたが、2006年に日本の商社と共に改めて資本参加を果たし、2012年に大同工業が全株式を取得して今日の完全子会社化に至っています。

DICにおいては、産業機械用チェーンが主力製品であり、設立時から生産しているコンベヤチェーンを含め、製鉄用、セメント用、紙業用、砂糖、コーヒー、自動車、二輪車生産設備などあらゆる分野に対応しながら、JISサイズのみならず、欧州標準であるBSサイズにも小形から大形まで幅広く対応しています。近年は、チェーンだけでなく搬送設備としての販売にも乗り出す一方、欧米の有名建機・農機メーカーによる一層のグローバル調達が加速する中で、当社も豊富な実績とエンジニアリング力を活かし、積極的に欧米メーカーとの取引の拡大にも努めております。

また、南米は農業が非常に盛んであることから、DICでは大同グループで唯一農業機械用チェーンの製造販売を行っています。農業機械用の製品は季節性が強い上に、過酷な使用環境からライフサイクルが短くなりがちである関係上、安価な輸入チェーンが好まれる傾向にありますが、当社のチェーンは、基本的な性能の高さは勿論のこと、付帯するアタッチメントやブラケットなどのバリエーションの豊富さから、お客様・エンドユーザーの絶大な支持を得ています。

二輪車用チェーンも主要な製品のひとつでしたが、ブラジル北西部アマゾニア州マナウス市に集中する日系二輪車メーカーからの要求に応える為、2009年同市に設立されたブラジル第2の拠点DAIDO INDUSTRIA DE CORRENTES DA AMAZONIA LTDAに二輪車メーカー向けチェーンの生産を順次移管し、今では二輪車用チェーンは補修市場向けのみの製造販売を行っていますが、安価な中国製品が市場を席巻する中にあっても、DIDブランドは南米全土に深く浸透し、高い評価、信頼を獲得しております。近年では、チェーンだけでなくスプロケットをセットにした補修キットでも売上を伸ばしております。

今後は、南米における一生産拠点としてではなく、DIDグループが展開するグローバル事業の更なる拡大に寄与できるよう、グループ各社との連携を深め、一層の発展を目指してまいります。

▲DIC取扱い商品

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
単元株式数	1,000株
基準日	定時株主総会　3月31日 剰余金の配当　期末　3月31日 中間　9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
(電話照会先)	0120-782-031
(インターネットHP URL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告の方法	当社ホームページに掲載(電子公告) http://www.did-daido.co.jp/jp/index.html
上場取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	6373

株主様向けアンケート
株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

http://www.e-kabunushi.com
アクセスコード　6373

いいかぶ　検索

空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます

※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細http://www.a2media.co.jp)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」　TEL:03-5777-3900 (平日 10:00～17:30)　MAIL:info@e-kabunushi.com

ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C013080
www.fsc.org

VEGETABLE OIL INK